

平成20年度 事業計画書

成立の日 から平成21年1月31日まで

特定非営利活動法人 網膜変性研究基金

1 事業実施の方針

平成20年度は、首都圏等の大都市圏を中心に、当法人の最重点事業「網膜色素変性症等の治療法確立のための基金募集事業」の必要性を広くアピールし、一人でも多くの方々からの支援、協力が得られる様広報、啓発活動を展開する。まず、「網膜色素変性症」という眼の難病の存在、そしてそれには現在有効な治療法が皆無であり、全国で推定5万人もの患者が日々衰えていく自らの視覚の悪化に為す術も無いこと、そしてその現状を打破する為には多額の研究費と多くの研究者、患者の労力が必要である事、当法人は研究基金を広く社会から募り、治療法の確立を1日も早く図る為活動しているといった案内パンフレットを作成、ホームページを開設する等して、関係行政機関・公益法人や、民間財団、製薬会社を始めとした大手民間企業等への広報PR、助成・寄付依頼活動を中心に、広く社会、市民への賛助呼び掛けを行う。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
網膜色素変性症等の治療法確立のための基金募集事業	網膜色素変性症等の治療法研究者への研究助成等のための寄付・賛助金募集活動	成立の日から平成21年1月31日	日本全国	50人	網膜色素変性症等の患者（国内に推定5万人）、同症の治療法研究者	500
網膜色素変性症等の治療法確立のための研究支援に関するホームページの運営、出版物の発行などによる普及啓発事業	ホームページの運営、活動紹介パンフレット及び疾患情報小冊子の配布	成立の日から平成21年1月31日	東京都及びパンフレット・小冊子は全国	100人	網膜色素変性症等の患者及びその家族、同症の治療法研究者及び医療・保健・福祉従事者、一般市民	1500